

大東市立歴史民俗資料館 市民学芸員REPORT

楽しく自信につながる終活中 市報の「募集記事」で人生急旋回

松井健一さん
氷野1丁目在住

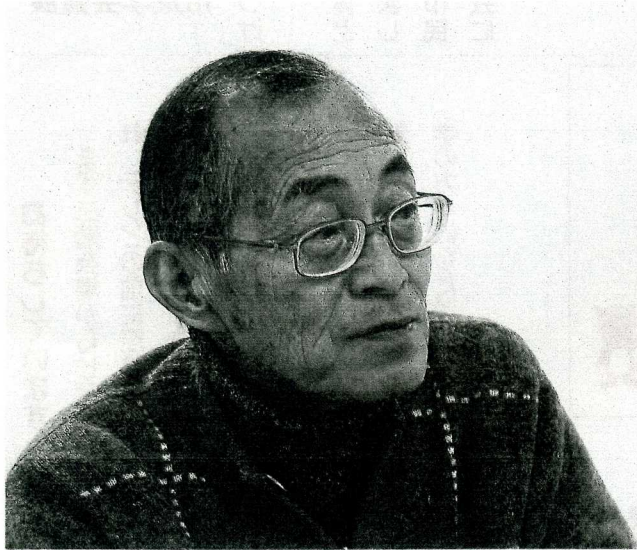
市民学芸員の連絡会が発足し、初代の「会長」松井健一さんに登場願ひ、日頃聞く機会のなかった生活の一端についてお聞きしました。お話しは「終活」でしたが、人生のゴールを見据えての話どころか、挑戦的な、将来に向かっての抱負になったようです。

・市民学芸員展の準備作業、世話役として今回は何かとご苦労されたのではと思います。ところで松井さんは写経をずっとされているとうかがいました。写経は続けています。毎朝5時に起床して、ネットでニュースをみて朝ごはん、そのあと大体八時半頃から写経を始め一日が始まる。もう朝の習慣のようになってるかな。

・いつ頃から始めて、またきっかけは何ですか？
平成21年の秋に会社を退職して、その直後から始めたけど、きっかけは単純で、まず経典のような凛とした字に憧れがあったし、何かに集中したかったし、

ちょっとオーバーにいうと、なにか人生の足あとみたいなものを残したかった。い

わたしは市民学芸員



「いまや、土器は煎じて飲めるほどになった」と松井健一さん

ま、終活（人生の終わりのための活動）の時期にあると意識し始めたから。今まで写したものは全て取り置きしていて、始めたころのものを見返すと「あ、ずいぶん上手くなったもんだな」とちょっととした自分史を感じてみたりもする（笑）。

いくんじゃないかな。年を重ねてから生きて地獄をみるのもいやだから、メリハリをつけて摂生に努めようと思ったし、これからも続けていこうと思う。

・平成21年の4月から市民学芸員講座は始まりましたが、当初は仕事をしながらの受講だったんですね。

退職の半年以上前から、退職後の身のふり方を考えはじめ、まずは大東市に住もう！と思った。郷里が静岡で名古屋勤務が一番長かったけど、大阪にいちばん思い出があったので。大東市に住むと決めた以上、このまちを好きになろう、そのためにはまずこの地域を知ることが大事だと思った。そんな折にまたま市報をめぐっていたら見つけた。

・市民学芸員講座！？
そう。だから最初は大東市を知る手段として講座に参加したにすぎなかった。「市民学芸員」って聞きなれない言葉だったし、初めはとまどうことも多かった。

見学会 古堤街道を

歩こう

申し込み受付中

お早目に

「古堤街道」とは大東市のど真ん中を東西に通じ奈良に至る、大東の歴史を体感できる道です。市民学芸員と一緒に歩いてみませんか。

日時 3月10日（日）午後1時～
集合場所 JR鴻池新田駅改札口前
解散場所 住道駅
参加費 100円 定員 30名

大東市立歴史民俗資料館まで
☎072-876-7011

例えば考古学の話では、笠井館長が土器をもって解説してくれて、「さわってみてください」って言われたけど正直触りたいとは思わなかった。

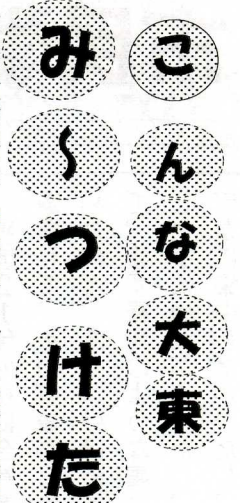
（以下次頁につづく）

市民学芸員手づくりの展示です

5チームの紹介とその場所の頁

- ★解説映像 「堂山の古墳 人とのもの」 3頁
堂山古墳群史跡広場が市の指定史跡になった理由
- ★ジオラマでみる昭和30年代の住道駅前 4頁
橋を渡ればもうそこは駅の改札口だった
- ★古堤街道をあるいて 民話を語る 6頁 12頁
壁面いっぱいに広がる大東地域の「古堤街道」
- ★市民学芸員のあゆみ 8頁
私たち市民学芸員 4年間の成長アルバム
- ★あたたまる 心もほっこり昔の道具 10頁
昔は火を囲んで、みんなで何を話していたのだろうか

市民学芸員は、学芸員として基礎知識を身につけた歴史民俗資料館の専門スタッフです。今回の展示は、企画段階から市民学芸員が主体となつて行った市民学芸員のデビュー展となりました。多くのおみなさんに大東市の歴史や文化、市民学芸員や資料館のことを知っていただける機会になればと思います。



第1回 市民学芸員展

こんな大東 み〜つけた

第1回市民学芸員展を開催中です

3月17日（日）まで

居ながらにしてわかる大東市の成り立ち

常設展もご覧ください

大東市の、水とのかかわり、出来事を
左右、2台のモニターで、9分間で概観できます

大東市立歴史民俗資料館



今回の展示に携わった市民学芸員

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 浅野 純郎 | 上野 繁 | 氏原 稔夫 | 岡島 怜子 | 岡本 尚子 | 黒川喜和子 | 小寺 良弘 | 為則 照子 | 為則 泰明 | 中下志津子 | 中西 昭治 | 橋本 醇子 | 檜垣 一美 | 松井 健一 | 水永八十生 |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

お待ちしています

まず三階会場からビデオの声に引きよせられテレビの前に座り込みました。堂山古墳群の映像にうなずきながら、現地での説明を思い出しました。

市民学芸員として、古堤街道の探訪にも参加しました。そこではあらためて昔の人々の行きかい、繁栄、移り変わった時代が偲ばれました。会場の壁全体の街道地図は、ぜひ見学の方々にもたどっていただきたいと思っています。

為則照子

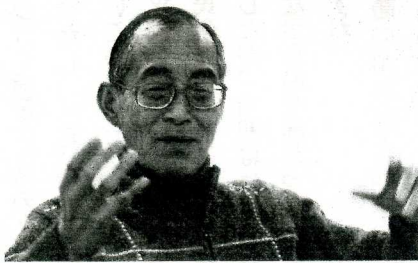
こんな大東 み〜つけた 特集

(前頁よりつづく)

「えーこんなきたないよ
くわからないものを？」
て(笑) いまは触るところ
か煎じて飲めるほどよ。
(笑) 土器の違いがわか
るようになったし、自分
自身でも進歩したなど思
う。

・その「土器なんてさ
わりたくない」といつ
た頃から今までを振り
返るといかがですか？

受講して間もない特別
展で間近に野崎観音の仏
像を拝顔して衝撃を受け
て、観音霊場巡りをした。



「一箇所を長時間うろ
ろしているので不審に思
われることもある」

今まで仏像に興味なんて
なかったんだけど。それ
から絵馬と神社の特別展
の準備で、調査に同行す
るうちにモノを見る楽し
さもわかった。いまでは
どこかの神社や寺院に行
くと入り口の仁王様や狛
犬などからはじまって、
正面から、後ろからひと
つひとつモノを見てしま
うから、一か所の見学に
何時間もかかってしまう。
時には不審がられること
もある。大袈裟だけど、
市民学芸員講座を受講し
たことで人生が…

・ねじまがつたー？

はい！(笑) だから、
これからも知的欲求があ
る限り、勉強は続けたい。
なにか試験を受けるよう
なことをやりたい。継続
は力になり、自信につな
がり、また楽しさも生む。
そういった持続性のある
人生を送りたい。

・ありがとうございま
した。

聞き手 大西京子



大阪歴史博物館

大阪城

「堂山古墳群史跡広場」から望む、大阪上町台地上のビル群 大阪城（中央右の矢印）
平成24年9月17日撮影

映像解説

堂山の古墳 人とももの

半年間
子供の頃にかえって
楽しみました

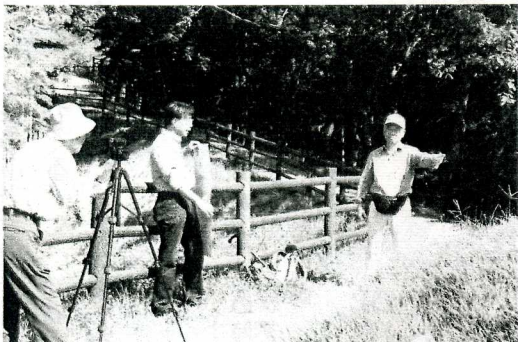
中西 昭治

子どもの時から映画が好きで、近所の映画館のごみ箱を漁って映写中に切れて繋いだフィルムの切れ端を探したり、就職し、曲がりなりにも自立できると、堰を切ったように、余暇が出来れば映画館に入りびたり、好きな映画はその進行、作法をメモに書き込んだりして、勝手に映画監督を夢見る世間知らずでした。

そんな中で、高校の先生から「今さらもうだめだ」のひとことで夢から覚めました。8ミリカメラ、ビデオカメラを次々と買い替えては会社の慰安旅行やホ-

ムムービーを撮りまくっていました。しかしお力ネと時間が不足で、努力の割には見てくれる人がなく、精がなくて、いつとき映像の世界は忘れたふりをしました。

ところが三年前、ふとしたことで「神社の絵馬展」でその準備作業のビデオを撮ったところから目が覚め、歴民のスタッフの目に留まり、そのサジェッションで



ガイド役出演場面の撮影風景



2号墳から7号墳のある墳丘（南側から撮影）

今回喜んで、「堂山の古墳」紹介ビデオを作らせていただきました。

ビデオ作品は文章や絵画などと違って大勢のスタッフが協力し、脚本・演出・撮影・編集・出演者などその個性が集まり、共同作業がなければ人さまの鑑賞に堪えるものには仕上がりません。そのうえで更に視聴の場が設定され、大勢の人に観ていただけるのは有難く、そこで本当に作品に息が吹き込まれ、独り立ち出

来たものと感謝しています。私としては、そんな今までにない絶好の条件に初めて恵まれて、「堂山」を知り始めたころの気持ちにかえって取り組んだのが、今回の「堂山の古墳 人とももの」でした。またそれを後押しして頂いたのが、資料館スタッフの方の多方面からのたくさんのアドバイス、遠景の古墳を望む、各地撮影場所の方がたの好意、ご援助でした。

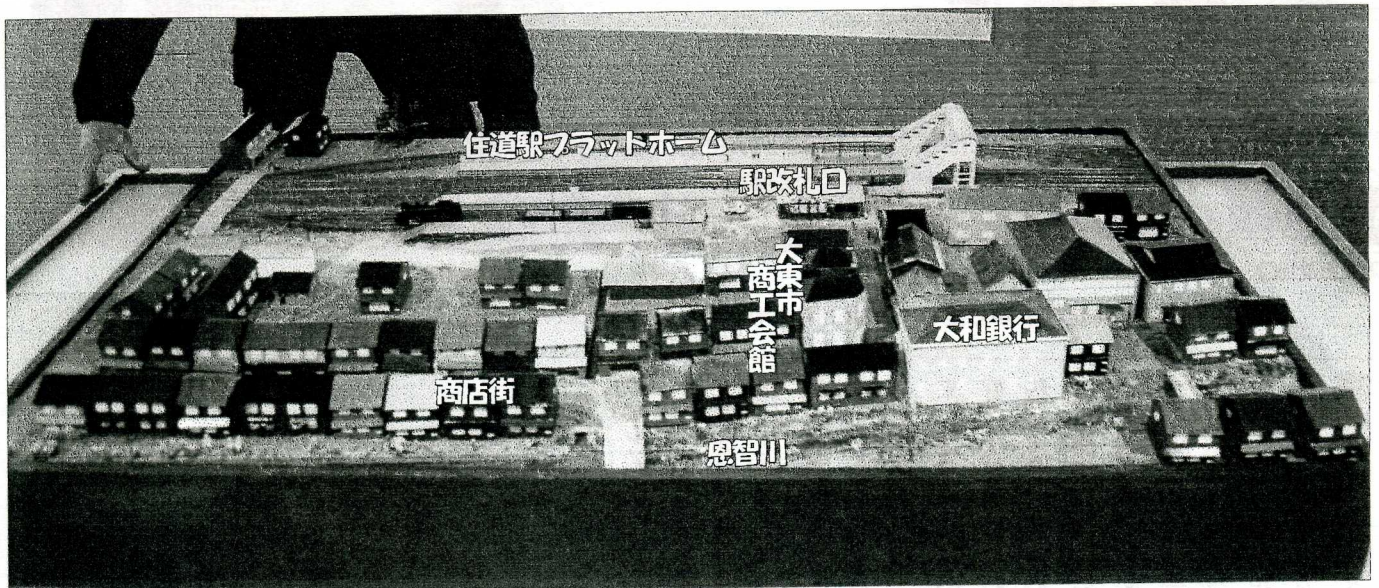
映像作品の出来上がりは文章以上に、プロとアマの差は一見して目立ちます。こうして勢い込んで仕上げた「堂山の古墳 人とももの」も、所詮はアマチュア作品そのものですが、それは良くも悪くも、制作した市民学芸員一同の実力の程度を反映したものであり、その点、視聴の皆様にも、暖かい目で観て頂ければ大変有難く思います。

「堂山の古墳 人とももの」

チーム

中西昭治 岡島怜子
小寺良弘 水永八十生

ジオラマでみる 昭和30年代の住道駅前



ガリバーになったつもいで駅前散策

ジオラマづくりに参加して

黒川喜和子

一ミリの線の内か外かを切るだけで150分の1の紙の家は微妙にずれてくる。組み立てがびったり合った時は、

大工の腕がよいからであり、ズレてしまったら左官屋になってボンドで上手にカベ塗りし、てあわせる。大きな市役所、

◀昔の「工作」の時間を思い出し、ジオラマづくりを楽しむ男性陣。



▶この人の指先で、どれだけ仕事が進んだか、と聞きました。

昭和30年代。大東市が人口三万人で発足したころから、その後大勢の人が初めての住道駅に降り立ちました。

銀行はカベがしなっていく。そうなら内側に竹ひごを入れて修正。家の窓はレンセットを使って障子を張る。こんな細かい作業を弁当持参で朝から夕方までつづける。

ただし黙々と、ではなく、お互い口だけは動かしている。「昭和30年ごろの木の家は、屋根はこんなんだったかな。」「学校から帰ってくると、野原、路地で思いっきり遊んだ」などと、持参したおやつを皆で口にしながら、楽しみながら組み立てた。色を塗り、ツマヨウジで作られた郵便ポスト、散髪屋のネオン。「用水路は線路の下を通っていた」など。

当時の駅前の写真、ビデオを見て、より正確な建物と位置、街並み、電柱の一本も位置があっているか。駅前の校の木、線路、駅舎。ガリバーになった気持ちで駅前を散策してみると、古堤街道、片町線、寝屋川の水運の交通が住道に集結して、敗戦後の日本の経済発展のひと役をかって伸び続けた大東市が見えてきた。

「ジオラマ」チーム

為則泰明 浅野純郎

氏原稔夫 黒川喜和子

中下志津子 松井健一

念願のジオラマ 楽しい作業でした

為則 泰明

かねてから実現したいと思っ
ていたテーマに、6人のメン
バーで取り組みました。

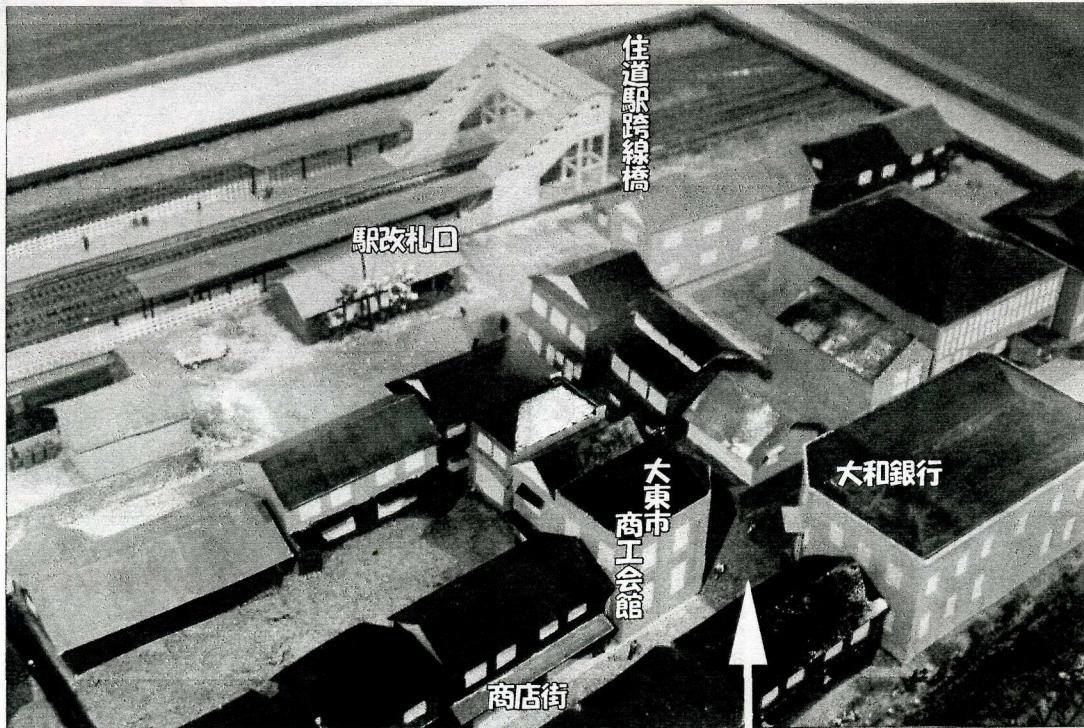
ジオラマで表現する範囲は
検討の結果住道駅と、今はサ
ンメイツ一番館となつている
場所にあった本通商店街など
を表現することにして、北は
恩智川から南は住道駅、東は
住道新道から西は当時の近畿
相互銀行あたりまで、南北約
110㍎・東西約220㍎く
らしいの範囲です。

それを150分の1の縮尺
で表わしています。

制作のための資料調査の段
階では大東市史や歴史民俗資
料館保存の写真をしらべたり
また住道本通商店街あるいは
サンメイツなどで行われた昔

の街の写真展等を見て歩きま
した。全体的な様子は、昭和
三一年大東市発足に際して整
備された三千分の一地形図や

昭和二〇年代の空撮写真など
によって把握できました。
当時の商店街のお店の並び
などの情報は、現本通商店街



この矢印の辺りで、下の写真は写されたようです

展示されているジオラマの住道駅と
旧恩智川との間、駅前周辺です。



上のジオラマの白の矢印の位置
から写したとみられるのが、下
の昔の写真です。正面に駅改札
口が認められます。

の服飾店「こはま」の小浜社
長様はじめ、お引き合わせ頂
いた、当時の商店街でお店を
構えておられた方々からいろ
いろと御教示やら街の見取り
図を頂くなど大変お世話にな
りました。心から御礼申し上
げます。

ただ 模型化するに際して
個々のお店や家々の形は写真

て申し訳ない気持ちでいます。

展示したものを見て、お気
づきの点を教えていただき修
正してゆくことも出来ると思
います。どうかご容赦をお願
いいたします。

平成二四年の夏の終わり頃
から制作を始めてから約五ヶ
月間、メンバー一同大変楽し
く作業が出来ました。

資料もとても少な
く、また私たちの
技術や費用などの
制約もあり、やむ
を得ず簡略化や省
略をした部分があ
り、お力添えをい
ただいた方々のご
期待に応えきれ
ない箇所も多く

